

## 螺旋の水

小林真紀子

薬一錠も通らぬまでに塞がったわたしのからだは  
真夏でも水すら拒みもどしつづけた  
夜間救急の白と緑の光のもと  
やっと含んだ真清水は  
銀河となってわたしを流れた